

# 紫西会報

第 53 号

発行所

茨城県筑西市下山590

茨城県立下館第一高等学校

紫西同窓会

(編集兼発行責任者 館野友一)

TEL (0296) 24-6344(代)

FAX (0296) 25-4673

印刷所 戸頃印刷所

## 「下館一高 創立百周年」

紫西同窓会長 林 廣 明

(第四十一回卒)



2023年(令和5年)、私達の母校茨城県立下館第一高等学校は創立100周年を迎えます。

母校下館一高の歴史を顧みますと、大正11年12月、「茨城県下館商業学校」として創立し、昭和3年4月に茨城県に移管され、その後制度改革等により校名や学科の変更がありました。戦後の学制改革

により高等学校に転換され、昭和24年4月に現在の「茨城県立下館第一高等学校」の校名に改められました。

この間、下館一高は数多くの有為な人材を世に送り出すとともに、社会の発展に多大なる貢献をしてまいりました。

そして、現在、母校下館一高の創立100周年にあたり

まして、創立100周年記念事業実行委員会は、令和5年11月5日に開催されます創立100周年記念式典に向けて、創立100周年記念誌、同モニメント、同茨城新聞広告及び同教育活動支援基金などの準備がすすめられております。

なお、創立100周年記念事業の一環として、令和3年9月、下館一高運動場に「運動場夜間照明装置の設置機」が完成致しました。運動場の夜間照明等が老朽化したため、夕方の部活動の実施や日照時間が短い期間の生徒の安全等を考慮した夜間照明装置を設置したところ、生徒の部活動が一層活発になったとのことでした。

さて、母校下館一高が創立100周年を迎える記念すべき今春、236名の生徒が下館一高を卒業し、新たな未来に向かって旅立ちます。

卒業生には、自分の目標に向かって邁進する人、目標が定まらず悩んでいる人、いろいろな事情で目標を断念する人等、それぞれの卒業生がいろいろな現況の中で、夢と期待と不安を抱きながら出発し

ます。

そして、卒業生の皆さんは、お父さんお母さんが通った路を、後を追うように辿っているのです。

「誰もが一度は通る路」です。

さて、私事で恐縮ですが、私は下館一高を卒業すると、在学中に数学を得意としていましたので、当然、大学は理工学部建築科に進学致しました。ところが、その後、いろいろな挫折に遭遇し、私は36歳になって司法書士試験に挑戦し、40歳で事務所を開業することができました。

私自身は、理工系の人間であり、文系とは思ってもおりませんでしたが、私の何処にそのような能力が隠されて

いたのか自分でも驚いております。

卒業生の皆さんの体には、父母、祖父母として曾祖父母と有史以来まで遡りますと数え切れない程の祖先の遺伝子を受け継いでいるのです。

その受け継いだ遺伝子には有りとあらゆる能力が潜んでいます。

卒業生の皆さんの体には、どのような能力が眠っているのでしょうか。そして、その能力に出会うことができるのは、1年先でしょうか、5年、10年先でしょうか。

その能力に出会える日を、胸をワクワクさせて楽しみにして下さい。

何時かきつと出会う日が来ると確信しております。

下館一高創立百周年記念公式webサイトが開設されました。下館一高・附属中学校ホームページにある「創立百周年記念サイト」のバナーをクリックしていただきますとサイトにアクセスできます。

公式サイトでは記念事業の進捗状況や実行委員会の活動報告など掲載しております。PC、スマートフォン、タブレット端末などからぜひご覧ください。

URL <https://www.shimodate1-h100.org/>

QRコード



# 「創立百年、 そして次の百年へ」

校長 赤田部 清浩



紫西同窓会の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育活動の発展のために、物心両面に渡るご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

現在、本校では高校は各学年六クラス、附属中は各学年一クラスの合わせて八学年の生徒たちが、日々の学習はもとろん部活動や生徒会活動

委員会活動などに積極的に参加して、充実した学校生活を送っております。

コロナ禍も令和五年一月で四年目となりました。私が在職したこの三年間は、臨時休校、分散登校、オンラインでのホームルーム・授業、授業の動画配信など、これまでの学校生活で経験したことないことばかりでした。しかし「生徒たちの学びを止めない」と

いう方針のもと、「『』を活用した教育活動は県の最先端を走っております。学校行事も教員や生徒たちの創意工夫のもと時期や規模を縮小しながらもほぼ全ての行事を実施してまいりました。教員集団の献身的な苦勞に感謝の言葉しかありませんし、その期待に心えてくれる生徒たちの聡明さにただ驚くばかりです。昨年八月には県で最初に海外交流事業を復活させ、中学生六十余名がオーストラリアへ行きました。参加した生徒たちは英語を学ぶとともに「異国から見た日本」を学び、大いに刺激を受けたと報告してくれました。コロナ禍の終息はまだ見えませんが、進取の気性を持つ本校の伝統通り、常識にとらわれず教育活動を続けて参りたいと思います。

さて、本校は今年創立百年という輝かしい時を迎えるわけですが、これまでの歴史を踏まえ生徒たちに集会で話をすることがあります。以下はその内容の抜粋です。

「昔、昔、日本では『高度経済成長時代』という時代がありました。私の小学校時代はその時代の最晩年です。その

頃は、職業は決まったものであり、偏差値の高い大学を出た人ほど、大手の会社就職して、お金を稼ぎ、車を買ったり、住宅ローンを組んだりして、幸せとされる生活を送っていました。何も考えずとも、先生の言うことを聞いて勉強していれば、将来会社が牛刀序列と終身雇用という仕組みを用意してくれる環境でした。ところが、これからの時代は違います。世界経済フォーラムにおいて、二十三年に小学校に入学する子供たちの六十五%が現時点では存在しない完全に新たな職業に就くという発表がありました。二十三年小学校入学というのはまさにここにいるあなた方の世代ではありませんか？ 例えばユーチューバーというのは、少なくとも私が校長になった五年前には認知されていませんでした。そんなものが職業と言えるのかという時代でした。新しい職業の割合は六十五%。今ある職業は三十五%つまり、今はない職業に就く方が当たり前にある会社や業界に居続けて定年を迎える方がレア。滅茶苦茶やばいですか？ それと

もわくわく興奮しますか？ 私はわくわくします。今の時代に高校生をもう一度やりたいくらいです。ではこれからの時代を生きる高校生や中学生はどうしたらいいのでしょうか？『社会に合わせた人生』を選ぶのではなく、『自分に合った人生』を探すべきです。本校では『自立した学習者』になるよう皆さんを指導してくがさいと教員に言っています。自立した学習者とは何か？ 自分の頭で考え自分の意思で行動できる人のことです。自立した学習者は『正解のない世界で幸せになれる候補者』と私は考えます。中学校高校の若いうちに、自分の好き・得意・やりたいことを見つけ、社会に合わせた人生でなく、自分の人生にあった生き方を探究することが肝要です。本校では『探究』の時間を授業と同じように重視しています。好きから得意なものを見つけ、そしてそれを職業とできる人生が築けたらこれに勝る人生はないでしょう。正解のない未来は怖いですが？ 正解がないなら自分で作ればいいんです。何をやっても正解はないのですから、失敗

したとしても一番先にやった人に価値があるということですね。」

下館一高を卒業した生徒たちが未来の社会において活躍することを念願してやみません。

最後に私事ですが、令和四年度が教員生活最後の年となりました。教員生活最後の年を二度目の赴任となる本校で勤務させていただくことはこの上ない喜びでした。本校の末長い発展を祈ります。



# 新任の先生よりメッセージ

下館一高に赴任して

大川 修一



この四月より下館一高に赴任しました。昨年度まではひたちなか市にある佐和高校に勤めておりました。

## 紫西会報

私は、学級担任をするたびに必ず教室に掲示するものがあります。それは、佐賀北高校野球部も部訓にしている「ピンチの裏側」という詩です。その詩の中で「ピンチの時に愚痴をこぼしたりヤケを起す、目が曇りピンチを切り抜けるエネルギーさえ失せてしまう。ピンチはチャンス。どっしり構えてピンチの裏側に用意されているチャンスを待つだけよ。」とあります。高校生の皆さんも私達大人たちも、いつも何事も上手くばかりはいきません。嫌なこ

とも苦しいこともたくさんあります。それでもひたむきに一生懸命に取り組むと、チャンスは巡ってくる。私は学んできました。

皆さん、下館一高でもたくさん困難にぶつかるとは思います。その裏側にある大きなチャンスを逃さないように、共に頑張っていきましょう。

学風(校風)は...

飯島 利通



面接やエントリシートなどで「あなたを動物に例えろ」と何ですか?という質問されて、戸惑った経験のある方がいるのではないのでしょうか。一見おちゃらけ要素のある質問ですが、実は、「自分を客観的に見えているか」「ちゃんと論理立てて説明できて

いるかなどを聞いています。犬、猫、猪などたくさんいますが、私は、現在ペンギンです。ペンギンは、陸での移動は遅いですが、水中での移動速度はとても早いです。そのペンギンと同じように、私もオンとオフがはつきりとしています。仕事中はアクティブになり、さまざまなことに対する集中力が上がります。と、いつように見えています。下館一高も百年を迎えようとしています。今、学風を問われたとき皆さん明確な答えが出来るように皆さんも学生生活を楽しくて胸をはって答えられるように生活しましょう。

下館一高・附属中に赴任して

武井 育代



今年度、養護教諭として下館一高附属中へ異動してまいりました。初めて学校に入った時、生徒が元気に挨拶をしてくれたことで、不安で緊張

していた気持ちがほっとしたことをよく覚えています。その後も廊下などですれ違う時には生徒から挨拶をしてくれることが多く、心が温まるのを感じています。

保健室には、怪我や体調不良、相談や身長を測りたいなど様々な理由で生徒が来室します。最初は対応に戸惑うこともありましたが、もう一人の養護教諭である比呂先生と相談しながら保健室の運営をしています。生徒の安全を第一に、気持ちや要望に寄り添った対応を心掛けています。附属中の生徒の様子を見て

いると、授業にも行事にもとても積極的に取り組んでいる姿に驚かされます。特に、夏に行われた学校説明会では、ほぼ全てを生徒が主体となって運営していました。自分のやるべきことを考え、自主的に動いている姿に私も刺激をもらっています。直接授業で関わることは少ないかもしれませんが、行事や委員会、清掃等の指導を通して、一緒に学んでいけたらと思っています。

また、高校生の中には、以前の赴任校での小学生や中学

生の頃を知っている生徒もいます。久しぶりの再会に、「覚えてる?」と声を掛けると、「もちろんです!」と返事が返ってくるものが多く、とても感激します。大きく頼もしく成長した姿を見ることが出来ることを嬉しく感じ、このような環境で仕事が出来ることが感謝しています。

これからも、生徒ひとりひとりが元気に安心して学校生活を送れるよう、力を尽くして保健室から応援していきます。どうぞよろしく願いいたします。

下館一高・附属中に赴任して

湊 直也



今年度より下館一高・附属中に赴任しました。前任校は市内の下館中学校に六年間勤務していました。ここには教え子たちも多く通っており、彼らに再会し、高校での成長や活躍を間近で見ることがで

きることを非常に嬉しく思います。また、下館一高・附属中の生徒たちは礼儀正しく、すれ違う度に気持ちのよい挨拶をしてくれます。職員も気さくに声をかけてくださる方が多く、恵まれた環境の中にいられることをこの上なく、有難く感じています。

ここに赴任して早くも一年が経とうとしています。附属中では、出会って初日から生徒たちの主体性や豊かな個性に驚いたことを今でも覚えています。何人もの生徒が人前に出て堂々と話ができる姿や、生徒一人一人がクロームブックを巧みに扱う姿などに、生徒たちの無限の可能性と明るい未来を感じました。

報 耕していきたいと思います。  
またまだ未熟で至らない点ばかりかと思いますが、下館  
西 一高・附属中の発展に少しでも貢献できるよう尽力してい  
紫 きます。どうぞよろしくお願  
いいたします。

## 下館一高に赴任して

主査兼事務長

棚井 一博



この度、鬼怒商業高校から赴任し、お世話になることになりました。

令和五年度に創立百周年を迎える伝統ある下館一高と、今年度三学年が揃った新しい附属中学校を併設した学校に勤務するということで、気持ちの引き締まる思いで赴任いたしました。赴任して直ぐに「入学式」がありました。緊張と期待を胸に臨む新入生の姿を見て、これからの職務の責任を強く感じたことを覚えています。

本校は歴史のある学校である半面、施設設備に関しては老朽化が目立つ部分もあり、事務職員として学習環境を整備し、生徒の皆さんが希望の進路を実現できるよう、安全

で安心な環境整備に努めたい所存であります。昨年度から引続き施工されていた「体育館の長寿命化工事」も九月に工事が完了し、ようやく十月から体育館が使用できることとなりました。工事期間中は、学校行事や集会、また体育の授業や部活動等で使用できない期間があり、大変不便をおかけしましたが、工事が終わって、目を輝かせて部活動に励んでいる生徒の姿、思い切り床に滑り込んでレシーブをする、バレーボール部員の姿を見て一安心しております。

我々事務職員は、直接生徒の皆さんに関わることで少ない職種ですが、教員とは違う角度で生徒の皆さんの夢の実現をサポートしていきますので、是非とも同窓会や地域の方々の力添えをいただければ有難いと感じております。

未だに新型コロナウイルスの終息は見えませんが、ウィズコロナの生活スタイルも確

立されつつありますので、生徒の皆さんが充実した学校生活を送り、地域に羽ばたいていけることを信じております。

最後に、正門のヒマラヤスギの幹の太さに、改めて下館一高の歴史と重みを感じておりますが、さらに年輪を重ねて太くなり、学校が発展していくことを願っております。

## 下館一高に赴任して

深谷 俊輝



今年度4月に三和高等学校より異動して参りました。生徒や職員の皆さんが、安心で快適な学校生活が送れるように施設・設備の維持管理に尽力していく所存ですので、どうぞよろしくお願いたします。



## 下館一高に赴任して

館野 友一

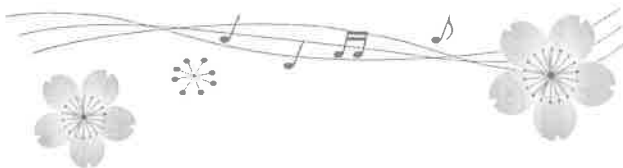


令和四年度の定期人事異動で古河一高より転任してまいりました。私自身、下館一高の第六十六回の卒業生で、平成二年三月に卒業しました。それ以来、三十二年ぶりに下館一高に戻ってきました。当時と変わらない校舎や紫西会館に懐かしさを感じる反面、取り壊されなくなった旧体育館や場所が移った部室棟、一新された硬式野球部のバックネットなど校舎の窓から見える風景が、私の記憶の中の下館一高から様変わりしていたことに一抹の寂しさを感じました。また三年前に附属中学校が併設され、大きく変わった母校に勤務することに、嬉しさとあつたのですが、大きな不安を抱えたスタートでした。

した。私の在学中、下館一高は自由な校風であるといわれていました。私自身がそうであったとは思いませんが多くの生徒が自律し、下館一高生としての自覚をもって高校园生活を送っていました。それは今でも変わっていないと思います。しかしながら今の高校生はやるべきことがたくさんあり、当時とは比べものにならないほど忙しい、大変な環境にあると思います。それでも前向きに、ひたむきに勉強や部活動に向き合う姿から、私は元気をもらいました。今後は彼らの夢や目標の実現のために、また、不安定な世界情勢や少子化の進行、成人年齢の引き下げなど目まぐるしく変化する社会の中でも、自分を見失うことなく生きていける力が持てるよう、少しでも力になりたいと思っています。

来年度は本校が創立百周年を迎える大きな節目の年でもあります。そういった時に本校に勤務することができ、感

慨深いものがあります。これまで多くの先輩方が築き、築いてきた伝統を、次の世代へ橋渡しできる役目が果たせるよう、精一杯努めていきたいと思っております。今後とも宜しくお願致します。



# 進路指導の現状

学習進路部長 谷 中 藤 雄

## 各学年の現状

### 一学年概況

身につけるべき「館一魂」、そして今後

養孝雄 太田 一也

四月最初のあいさつで、「ここで『館一魂』を身につけてほしい。」とみんなにお願いした。私が考える「館一魂」には二つの意味がある。

一つには、「優しく、思いやりの心」である。自分自身本校入学後、すぐに感じたのは、自分が何か大変そうにしていた時や、何かに真剣に取り組んでいた時「手伝うか。」「大丈夫か。」「付き合うか。」などの言葉をかけてくれた友人が何人もおり、彼らの言葉に心が救われたことである。みんなにも、常に気配り、目配りを忘れることなく、他人に対して「優しく、思いやりの心」を持って接してほしいと思う。とにかく、中学時代の友人に、「館一、すげえいいよ。」と自慢できるように、他のどの学校の生徒に負けないくらい、みんな仲良く学校生活を送ってほしいと思う。

二つには、「レディーファ

す。今後の進路指導においても、対面形式、オンライン形式とを指導の目的や内容により適切に使い分けることにより効果的な指導となることを感じています。

生徒の将来に繋がる進路選択となること、進路指導の最も大切なポイントだと思えます。今後は、様々な進路指導の行事を通じて、正しい情報伝達と将来を見据えたモチベーションアップを図ること、そして、より多くの個別面談により生徒一人一人に適した緻密な進路指導を実践し、それぞれの将来に繋がる進路実現を叶える学校でありたいと考えています。

「大学入学共通テスト」  
1月14日・15日の両日、本校3年生227名が筑波大学会場で第3回の共通テストを受験しました。

前年度と比較すると、数学I・A、数学II・Bで平均点が大きくアップした結果、全体としては易化した。しかしながら、理科②で得点調整が行われるなど、実施3年目ですが、まだまだ各教科・科目の難易度が安定して

### 「第3学年」

入学以来、最も新型コロナウイルスの影響を受けた学年でしたが、7月に茨城大学、宇都宮大学より講師を招いて希望する生徒及び保護者対象に説明会を実施しました。また、難関大学志望者向けにも講師を招いて講演会を実施するなど、受験に向けた意識を高めていきました。

### 「全体」

各学年ともオンラインの特性を生かし、生徒が自宅で保護者とともに視聴できる進路講演会を実施し、生徒・保護者ともに理解が深まり好評でした。また、8月には全学年対象に茨城県西部メディカルセンターのご協力の下、1日病院薬剤師体験をオンラインで実施(対面から急遽変更)し、26名の生徒が参加しました。次年度以降は、病院での体験となるよう願っています。

実施しました。9月には企業訪問をオンラインに切り替えた社人講話(8社)、10月には紫西フレカレッジ(出前授業)もオンラインに切り替えて、授業(6講座)を実施しました。将来を見据えた適切な学部学科選択、主体的な進路選択、職業と大学・学部について理解が深められました。

### 「第2学年」

6月に実施予定だった大学見学会は、新型コロナウイルスの影響で実施できませんでした。7月に「夢ナライフWeb」に生徒全員が自宅から参加しました。そこでは、学問研究への関心を深め、夏休みの各大学のオープンキャンパス参加の意欲を高めることができました。10月には、6つの大学への訪問が実現し、大変意義のあるものとなりました。

## 紫西会報

### 「第1学年」

宿泊語学研修を4月下旬に福島県フリティッシュ・ヒルズにおいて1泊2日の日程で



「スト」である。

我々の高校時代は、教員と言えは、養護教諭以外すべてが男性職員であった。そんな中、我々が面会したのは先生方の女子と男子との接し方に、明らかに違いがあったことである。それはまさに「ひいき」と呼べるものであった。しかしながら、それが常態化してくると、我々も自ずと、女子に優しく接するのが当たり前になり、常に優しさに包まれた

女子たちが輝いていた記憶がある。女子が生き生きとしている集団（学校）は居心地が良かった。男子のみんなには、この学年を、そんな場所にするための礎を担ってほしい。

四月からみんなを見てきて、その心に基づくと「館一魂」が宿ってきているなと感じている。他人（先生方も含めて）に対して、「みんな優しい、いい生徒だなあ。」と思う。ただし、今後、他人はもろいもの、もっと自分を大切にしてほしいと思う。みんなが持っている、素晴らしい人間性を伸ばせる場所に進む（すべての進路）ための努

力（勉強を筆頭に）を惜しまないでほしいと思う。

## 二学年概況

豊巻市村 太一

高校生活も折り返し地点を過ぎ、いよいよ三年生0学期が始まりました。これまで同様、新型コロナウイルスを意識する中での生活ですが、生徒には「このような状況の中でも館一なら出来ることがあるはず」と伝えながら、ここまですべて過ぎてきました。

お陰様で、年度当初に企画した学年行事もほぼ全て実施する事ができ、少しずつではありますが元々の生活に近づきつつあることを実感しています。さて、この数か月を振り返ってみますと、まず四月に行われた筑波山登山が思い出されます。この行事は今年度初めて計画、実施されたものです。新たなクラスにおける人間関係形成の一助になったと同時に、何事も「コロナ」という一言で諦めるのではなく、そういう状況だからこそどう考え行動するか、自分を取り巻く環境は自分の考動で大きく変わるということを生徒達も少なからず実感したこ

とと思います。私自身、登山中に数名の方から登山中のマナーについてお褒めの言葉をいただく場面があり、地域社会に本校を理解していただくには生徒の姿を見てもらうのが一番だということを確認することができました。

十月には高校生活最大の行事である広島・京都への修学旅行がありました。特に中学時代に叶わなかった京都への旅行を生徒達は満喫したようでした。自らの興味関心に基づき一部旅程を選択制とし、公共の交通機関を使ってそれぞれの行程を考えました。予定通りに過ごせた生徒がいる一方で、中心地付近の交通渋滞を考えずに行動して失敗したという生徒や、東京駅の集合場所が分からず迷ってしまったが、先に到着していた友達を見つけたほっとしたという生徒など、旅行後の感想文を見てみますと充実した四日間であったことが伝わってきます。

生徒会と執行部、部活動など様々な場面で三年生からバトンを受け取り、間もなく最終学年がスタートします。来年、創立百周年を迎える本校にとつての節目の一年をどう過ごすかは、その後の生徒達の人生を大きく左右するはずです。修学旅行の感想にはこんなものも含まれていました。「旅行を通して仲間との絆が深まり、この後の受験を一緒に乗り越えていこうと思うた」。私たちも生徒一人一人の進路実現に尽力していきたいと思っています。

また、七月には、ノープルホームスタジアム水戸において、初めての野球応援に臨みました。照りつける太陽の下、白球を追う硬式野球部の仲間達を精一杯の大きな拍手で応援したことは良い思い出となったようです。

に励んでいます。

今年度を振り返りますと、附属中を含めた六学年の中の最高学年として部活動に学校行事に学習に真摯に取り組む姿が見受けられました。六月には体育祭と文化祭を融合した七曜祭が開催されました。初日、生徒達は思い切り体を動かし仲間を全力で応援し汗を流していました。二日目は各クラスが創意工夫を凝らし、流石は三年生！と思える質の高い展示やアトラクションを企画して好評を博しました。

また、九月には、「不撓不屈」のスローガンの下、クラスマッチが行われました。仮装リレーや水鉄砲などティエリアに溢れる各競技を心から楽しんでいっているように見えました。最後のクラス対抗リレーも大変盛り上がり、受験勉強の合間の良い息抜きとなったようです。受験勉強は長く苦しく孤独

な戦いです。しかしながら、仲間同士で励まし合い、ともに頑張ることで乗り越えられますし、その経験は将来の人生に役立つ大きな糧となります。一人一人が希望する進路を実現できることを願い、教員一同、最後まで生徒達を支援して参ります。保護者の皆様にもご理解と協力をいただきたいと思います。なお、一月末日現在の進路状況は以下の通りです。

## 進路状況

1/31現在

国立公立大 (11名)

・筑波大学 3名

・茨城大学 2名

・宇都宮大学 1名

・群馬大学 1名

・秋田大学 1名

・福島大学 1名

・県立医療大学 2名

私立大学 (28名)

・慶應義塾大 1名

・東京理科大 2名

・中央大 4名

・立教大 2名

・東京女子大 1名

・明治学院大 1名

・成蹊大 1名





|    |      |                     |                     |       |      |        |        |        |      |      |      |          |            |                     |              |           |            |                    |                    |                     |                     |       |
|----|------|---------------------|---------------------|-------|------|--------|--------|--------|------|------|------|----------|------------|---------------------|--------------|-----------|------------|--------------------|--------------------|---------------------|---------------------|-------|
| 就職 | 専門学校 | ・大原簿記情報ビジネス<br>専門学校 | ・土浦協同病院附属看護<br>専門学校 | ・茨城県庁 | ・獨協大 | ・東京家政大 | ・昭和女子大 | ・自治医科大 | ・東洋大 | ・日本大 | ・文教大 | ・国際医療福祉大 | ・専門学校 (7名) | ・土浦協同病院附属看護<br>専門学校 | ・小山齒科衛生士専門学校 | ・情報科学専門学校 | ・日本工学院専門学校 | ・宇都宮ビジネス電子専<br>門学校 | ・栃木県立県央産業技術<br>専門校 | ・大原簿記情報ビジネス<br>専門学校 | ・土浦協同病院附属看護<br>専門学校 | ・茨城県庁 |
|    |      | 1名                  | 1名                  | 1名    | 1名   | 3名     | 1名     | 2名     | 1名   | 1名   | 2名   | 5名       | 7名         | 1名                  | 1名           | 1名        | 1名         | 1名                 | 1名                 | 1名                  | 1名                  | 1名    |



入学式



七曜祭



クラスマッチ



附属中、探究成果発表会

# 学 校 生 活



ブリティッシュヒルズ



オーストラリア語学研修



修学旅行



附属中クラス合宿

## 主な大学合格者数

(年度は入試年度です。)

## (主な国立大学)

| 大学名  | R4年度 | R3年度 | R2年度 | (令和元年)<br>31年度 | 30年度 |
|------|------|------|------|----------------|------|
| 東北   | 0    | 0    | 1    | 0              | 1    |
| 山形   | 4    | 0    | 4    | 3              | 2    |
| 福島   | 7    | 5    | 6    | 8              | 2    |
| 茨城   | 25   | 24   | 20   | 24             | 26   |
| 筑波   | 2    | 4    | 5    | 4              | 5    |
| 宇都宮  | 13   | 15   | 13   | 7              | 12   |
| 群馬   | 0    | 4    | 7    | 3              | 2    |
| 埼玉   | 8    | 6    | 9    | 15             | 5    |
| 千葉   | 0    | 3    | 1    | 1              | 2    |
| 東京   | 0    | 0    | 0    | 1              | 0    |
| 一橋   | 0    | 0    | 0    | 0              | 0    |
| 東京工業 | 0    | 0    | 1    | 0              | 0    |
| 東京学芸 | 2    | 0    | 0    | 2              | 1    |
| 横浜国立 | 0    | 1    | 0    | 0              | 0    |
| その他  | 5    | 11   | 5    | 8              | 9    |
| 国立大計 | 66   | 73   | 72   | 76             | 67   |

## (主な私立大学)

| 大学名    | R4年度 | R3年度 | R2年度 | (令和元年)<br>31年度 | 30年度 |
|--------|------|------|------|----------------|------|
| 国際医療福祉 | 8    | 12   | 17   | 14             | 15   |
| 獨協     | 18   | 21   | 17   | 8              | 12   |
| 文教     | 16   | 17   | 16   | 10             | 25   |
| 青山学院   | 3    | 3    | 3    | 0              | 0    |
| 大妻女子   | 5    | 2    | 4    | 1              | 9    |
| 北里     | 3    | 5    | 2    | 7              | 2    |
| 慶應     | 1    | 1    | 1    | 1              | 2    |
| 國學院    | 10   | 1    | 3    | 5              | 3    |
| 駒澤     | 7    | 7    | 5    | 8              | 16   |
| 芝浦工業   | 3    | 3    | 4    | 10             | 4    |
| 上智     | 0    | 0    | 0    | 0              | 0    |
| 専修     | 9    | 13   | 7    | 5              | 3    |
| 中央     | 7    | 9    | 3    | 3              | 5    |
| 津田塾    | 2    | 1    | 0    | 2              | 0    |
| 東京女子   | 3    | 1    | 1    | 2              | 5    |
| 東京薬科   | 0    | 0    | 0    | 1              | 0    |
| 東京理科   | 2    | 2    | 2    | 4              | 1    |
| 東洋     | 49   | 62   | 31   | 47             | 49   |
| 日本     | 50   | 29   | 38   | 22             | 14   |
| 日本女子   | 1    | 3    | 0    | 3              | 0    |
| 法政     | 17   | 4    | 7    | 5              | 6    |
| 東京都立   | 0    | 0    | 0    | 1              | 1    |
| 明治     | 12   | 8    | 4    | 3              | 4    |
| 明治学院   | 9    | 3    | 5    | 5              | 3    |
| 立教     | 6    | 5    | 4    | 3              | 1    |
| 早稲田    | 0    | 0    | 1    | 6              | 0    |
| その他    | 338  | 332  | 327  | 270            | 325  |
| 私立大計   | 579  | 544  | 502  | 446            | 505  |

## (主な公立大学)

| 大学名   | R4年度 | R3年度 | R2年度 | (令和元年)<br>31年度 | 30年度 |
|-------|------|------|------|----------------|------|
| 高崎経済  | 4    | 4    | 1    | 6              | 11   |
| 県立医療  | 0    | 2    | 5    | 2              | 1    |
| 東京都立大 | 2    | 0    | 0    | 1              | 0    |
| 横浜市立  | 0    | 0    | 0    | 1              | 0    |
| その他   | 15   | 11   | 20   | 14             | 14   |
| 公立大計  | 21   | 17   | 26   | 24             | 26   |

## 進路決定先人数

| 年 度 | 国公立大 | 私立大 | 短期大学 | 専門学校 | 就 職 | 未定・他 | 卒業者数 |
|-----|------|-----|------|------|-----|------|------|
| R 4 | 71   | 160 | 1    | 9    | 1   | 23   | 265  |
| R 3 | 87   | 156 | 0    | 12   | 2   | 16   | 273  |
| R 2 | 77   | 172 | 4    | 3    | 1   | 19   | 276  |
| 3 1 | 84   | 146 | 2    | 13   | 1   | 27   | 273  |
| 3 0 | 83   | 152 | 1    | 6    | 1   | 29   | 272  |
| 2 9 | 82   | 162 | 2    | 8    | 5   | 16   | 275  |

## 2023年度大学入試センター試験平均点

| 科 目  | 国 語   | 世界史B | 日本史B | 地 理 B | 現代社会 | 倫理政経 | 数 I A | 数 II B | 物理基礎 | 化学基礎 |
|------|-------|------|------|-------|------|------|-------|--------|------|------|
| 本校平均 | 98.5  | 55.9 | 57.8 | 56.6  | 55.5 | 64.0 | 45.7  | 44.9   | 25.4 | 36.6 |
| 全国平均 | 105.7 | 58.4 | 59.8 | 60.5  | 59.5 | 60.6 | 55.7  | 61.5   | 28.2 | 29.4 |

| 科 目  | 生物基礎 | 地学基礎 | 物 理  | 化 学  | 生 物  | 英リーディング | 英リスニング |
|------|------|------|------|------|------|---------|--------|
| 本校平均 | 23.9 | 29.5 | 47.2 | 40.8 | 34.5 | 48.6    | 59.0   |
| 全国平均 | 24.7 | 35.0 | 60.4 | 54.0 | 48.5 | 53.8    | 62.4   |

・全国平均は中間発表のものです。  
・理科の化学、生物は得点調整後の平均点。



# 部活動報告

## 全国大会出場

### ライフル射撃部

☆令和4年度 全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会  
エアライフル立射60発男子 小林 弥来(桃山学園)  
チームライフル立射60発女子 塚田 恵美(下館中)

### スキー部

☆第58回全国高等学校スキー大会  
ジャイアントスラローム 新澤 心花(結城中)  
☆令和4年度国民体育大会スキー競技会  
ジャイアントスラローム 新澤 心花(結城中)

## 関東大会出場

### 陸上部

☆令和4年度関東高等学校陸上競技大会  
男子5000m競歩 廣瀬 泰和(下館南中)  
女子走り高跳び 川崎望鈴杏(下館北中)  
☆第26回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会  
男子三段跳び 8位入賞 高久 祐樹(岩瀬西中)  
男子円盤投げ・男子砲丸投げ 古澤 正翔(下館南中)

### 柔道部

☆令和4年度関東女子ジュニア柔道体重別選手権大会  
塙 聖(東部中)

### ライフル射撃部

☆令和4年度 関東高等学校ライフル射撃競技大会  
エアライフル立射60発男子 小林 弥来(桃山学園)  
チームライフル立射60発女子 塚田 恵美(下館中)  
☆令和4年度 第20回関東高等学校ライフル射撃競技選抜大会  
チームピストル60発男子 第7位入賞  
櫻岡 悠翔(友部中)  
小林 弥来(桃山学園)  
塚田 恵美(下館中)

### スキー部

☆第58回関東高等学校スキー大会  
ジャイアントスラローム 新澤 心花(結城中)

### 水泳部

☆令和4年度第73回関東高等学校選手権水泳競技会  
男子100M・200Mバタフライ 大橋 秀成(結城中)  
男子100M平泳ぎ・男子200M個人メドレー 菅野 慶吾(結城中)

## 部活動紹介

### 硬式野球部

1 This Means Moreをモットーに夏ベスト八を目指し日々練習しています。  
2 選手十五名 マネージャー四名

3 グラウンド  
4 火曜日

### 軟式野球部

1 部員が少ない逆境に負けず、まずは部員を増やし、関東大会に出場する。  
2 選手三名 マネージャー二名

3 グラウンド  
4 火曜日

### サッカー部

1 選手一人一人が主体となり、県大会出場を目標に日々練習に励んでいます。  
2 選手三十二名

3 グラウンド  
4 水曜日以外

### 男子バスケットボール部

1 県大会ベスト十六を目標に、互いに競い合い、真摯に取り組んでいます。  
2 選手二十七名 マネージャー三名

3 体育館  
4 月曜日以外

1目標 2部員人数  
3活動場所 4活動日

### 女子バスケットボール部

1 「百折不撓」のスローガンのもと、県大会出場を目指して日々練習に励んでいます。  
2 選手四名 マネージャー一名

3 体育館  
4 月曜日以外

### 男子バレーボール部

1 部員が少ない中、県大会出場を目指して日々練習に励んでいます。  
2 選手七名

3 体育館  
4 月・水以外

### 女子バレーボール部

1 県西優勝・県ベスト八を目標に全員が切磋琢磨し合いながら日々の練習に励んでいます。  
2 選手十二名 マネージャー二名

3 体育館  
4 水曜日以外

### バドミントン部

1 男子県大会出場・女子県ベスト八を目標に切磋琢磨しあいながら練習に励んでいます。  
2 三十八名

3 体育館  
4 火曜日以外



## 卓 球 部

- 1 男子は県大会一回戦勝利、女子は県大会ベスト八を目指し、日々頑張っています。
- 2 選手十三名
- 3 卓球場（旧給食堂）
- 4 火く土曜日



## 男子ソフトテニス部

- 1 僕たちは個人戦県ベスト八、団体戦一回戦突破を目指して自分を高めています。
- 2 十三名
- 3 テニスコート
- 4 火く土曜日



## 女子ソフトテニス部

- 1 個人戦・団体戦ともに県大会出場し、自分らしいプレーをすることです。
- 2 選手八名
- 3 学校コート・県西運動公園
- 4 月曜日以外



## 硬式テニス部

- 1 私たちは、心身の向上と、県大会出場を目指して日々練習に取り組んでいます。
- 2 選手十三名
- 3 学校コート・県西運動公園
- 4 水・木・土・日



## ハンドボール部

- 1 一つ一つの練習の効果・目的・場面を常に意識しながら練習しています。
- 2 選手四名 マネージャー二名
- 3 ハンドボールコート
- 4 火く金曜日、土又は日曜日



## ライフル射撃部

- 1 一人一人が自分の射撃と向き合い、向上心を持って、関東・全国を目指しています。
- 2 選手十名
- 3 旧給食堂・茨城県営ライフル射撃場
- 4 月曜日以外



## 陸 上 部

- 1 部員全員が県大会に出場することを目標に、日々練習に励んでいます。
- 2 選手八名 マネージャー四名
- 3 グラウンド・県西公園・河川敷
- 4 月く土曜日



## 柔 道 部

- 1 個人関東大会出場を目指して少数ではありますが、が、先生のご指導のもと練習しています。
- 2 選手五名
- 3 格闘技場二階
- 4 月く土曜日



## 弓 道 部

- 1 インターハイ出場と美しい射撃を目指し、日々練習に励んでいます。
- 2 二年生八名、一年生二十三名
- 3 弓道場
- 4 基本日曜日以外



## 剣 道 部

- 1 関東大会出場を目標に日々強くなれるよう、心を磨き、稽古に励んでいます。
- 2 男子六名 女子二名 中学生四名
- 3 格闘場
- 4 火く金 土日祝祭日



## 水 泳 部

- 1 大会で自己ベストが出せるように各自の練習に励んでいます。
- 2 一年生二名 二年生一名
- 3 各スイミングスクール
- 4 火曜日以外



## 登 山 部

- 1 三〇〇〇m級の山に登頂すること、関東大会に出場すること。
- 2 男子九名 女子三名
- 3 山・物理室（ミーティング）
- 4 火く金曜日 月二回の土日活動



# 紫西会報

## スキー部

- 1 インターハイ、国体に出場することを目標に練習に励んでいます。
- 2 一名
- 3 スキー場
- 4 冬の期間

## ダンス部

- 1 観客の方々に笑顔と元気を届けられるよう、日々の練習に励んでいます。
- 2 二年生十七名 一年生十六名
- 3 紫西会館
- 4 火・土曜日

## チアリーディング部

- 1 野球応援や学校、地域のイベントで多くの人を笑顔にできるように頑張ります。
- 2 二年生六名、一年生四名
- 3 体育館ステージ
- 4 火・木・金曜日

## 吹奏楽部

- 1 吹奏楽コンクールで、県西大会金賞、県大会出場と金賞を目標に日々練習しています。
- 2 二年生十四名、一年生九名、中学生七名
- 3 音楽室
- 4 火・土曜日



## 文芸部

- 1 作った短歌や俳句を互いに鑑賞・批評し、より良い作品を作れるよう頑張っています。
- 2 高校生五名、中学生十名
- 3 LC
- 4 毎週水曜日

## 書道部

- 1 茨城県の高校総体文化祭での入賞を目標に活動しています。
- 2 六名
- 3 図書室
- 4 水曜日

## 茶華道部

- 1 茶華道部を通じて礼儀作法を身につけ、おもてなしの心を養うこと。
- 2 三年生四名 一年生五名
- 3 茶道室
- 4 毎週火曜日

## 美術部

- 1 美大合格、画力向上のために、デッサンや作品製作を通じて基礎力の向上を図ります。
- 2 一年生七人 二年生五人
- 3 美術室
- 4 木曜日（その他の日は自由参加）



## 写真部

- 1 私たち写真部は、「楽しく、よりよい写真を撮ること」を目標に日々活動しています。
- 2 十名
- 3 学校内・個人撮影場所
- 4 各行事毎・個人休日など

## 放送部

- 1 全国大会出場を目標とし、朗読技術の向上のため日々練習に励んでいます。
- 2 一年生二名
- 3 放送室
- 4 火・金曜日

## 英語部

- 1 A・I・Tの先生と様々な話をし、海外のゲームで遊ぶことで楽しく英語を学んでいます。
- 2 高校生五名 中学生五名
- 3 多目的室
- 4 火・金曜日

## 理科部

- 1 理科に関する気になったことを実験し、飽くことなき探求心を満たすために活動しています。
- 2 二年生四名 一年生七名
- 3 化学室
- 4 毎週火曜日



軽音部

- 1 各バンド自由に楽しく活動しています。
- 2 十六名
- 3 保健室前部室棟・音楽室
- 4 バンドごとに決めた曜日

ボランティア部

- 1 ボランティアを通して社会貢献をし、様々な経験を積んで物事に対する視野を広げる。
- 2 九名
- 3 物理地学講義室
- 4 月曜日の昼休み

執行部

- 1 生徒の皆さんが楽しいと思えるような学校行事にするための企画、運営をおこなっています。
- 2 三十五名
- 3 紫西スタディールーム、社会科室
- 4 七曜祭、館力祭、クラスマッチなどの行事毎

生徒会

- 1 聖地主体の校風を大切にしながら、進化し続けられるが功を目指して、日々活動しています。
- 2 会長、副会長、書記二名、会計二名、会計監査二名
- 3 生徒会室
- 4 不定期



職員異動

令和四年度

一 退職者

事務(事務室長)

飯村 好明

教諭(理科) 榎野 繁樹

教諭(地公) 齋藤 喜博

二 転出者

教諭(体育) 片岡 良祐

教諭(地公) 林 康次郎

教諭(数学) 野村 綾香

教諭(数学) 藤田 宏美

教諭(体育) 長沢 孝

教諭(数学) 古谷 英雄

講師(英語) 岡本 好和

(竹園高へ)

三 転入者

事務(主査兼事務長)

棚井 一博

教諭(地歴) (鬼窓商業より)

教諭(地公) 龍野 友一

教諭(体育) (古河一高より)

教諭(数学) 大川 修一

教諭(理科) (佐和高より)

教諭(数学) 藤田 宏美

教諭(理科) (本校附属中より)

教諭(地公) 飯島 利通

教諭(地公) (八千代高代より)

教諭(数学) 榎野 幹

教諭(数学) (岩瀬高より)

教諭(数学) 湊 直也

養護教諭 (下館中より)

事務(主任) 武井 育代

講師(数学) (桃山学園より)

宮川 茂

深谷 俊輝

(三和高より)

同窓会学年幹事

令和四年度

一組 大和田千尋

二組 三科 亮太

三組 川崎望鈴杏

四組 豊澤 蘭樹

五組 岩瀬 巧弥

六組 塚越 真桜

七組 河野 祐可

八組 初沢 優大

九組 直井 遥都

十組 金子 里桜

十一組 藤森 拓海



編集後記

今年度も紫西会報をお届けする時期になりました。お忙しい中、快く寄稿下さった同窓会長の林様をはじめ、諸先生方、生徒諸君のご協力により、無事に会報をお届けできることをこの場を借りて御礼申し上げます。

さて、今年は母校が大正十二年の創立から百周年を数え、十一月の創立百周年記念式典をはじめ、記念事業を控えております。ここでも多くの方々のご協力を得、私自身も同窓生として微力ながら尽力していく所存です。

四月には三年前に入學した付属中の生徒が下館一高に入學します。彼らを含め、後輩達が各方面で活躍してくれることを願うと同時に、一教員として指導に邁進していきたいと思います。(館野 記)

紫西会報では、下館一高を卒業された方の記事をお待ちしております。クワソ会の開催報告など、お便り、FAX、電子メールでお寄せくださる学校代表メールアドレス  
koho@shimodate-h.tok.ed.jp

編集委員 館野 友一  
中原 宥朋  
星野 雅一  
写真提供 鈴木写真館